

～学校・家庭・地域で通じ合う心～

協働通心

令和3年度

第1号

発行元

草津市教育委員会

生涯学習課

平成10年から始まった地域協働合校事業は今年で23年目を迎えます。長い歴史の中、昨年度は新型コロナウイルス感染症の猛威に見舞われ、事業の継続も危ぶまれましたが、地域の皆様や、学校と地域を結ぶコーディネーター、学校運営協議会による新たな事業の検討等、創意工夫を凝らし、事業を展開していただきました。今年度も、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、「子どもが輝く教育のまち・出会いと学びのまち・くさつ」の実現を目指して行きたいと思えます。

活動リーフレット



市内小・中学校および地域が、実施事業をSDGs（持続可能な開発目標）に関連付けながら、2030年までに達成すべき17の目標に分類しています。より多くの方がSDGsに関心を持ち、持続可能な社会の実現に向け、今までの取組に国際社会共通の目的があることを知っていただけるよう広報していきたいと思えます。

地域コーディネーター業務説明会



4月16日（金）に地域コーディネーターへの業務説明会を実施しました。新たに3名のコーディネーターを迎え、今後の活動に少しでも役立てられるように、令和2年度実施事業一覧をもとにコロナ禍での実施方法の工夫や反省点、新たな取組等を情報交換しました。

生きる力 学びの、その先へ

学習指導要領においては、「社会に開かれた教育課程」として、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるようにするのかを明確にしなが、**社会との連携・協働**によりその実現を図ることが明記されました。